

自転車国内販売動向調査月報ダイジェスト(平成24年1月)

当協会では、毎月全国100の標準自転車小売店を対象に、自転車の販売に関するアンケート調査を実施し、「自転車販売動向調査月報」としてとりまとめ発表しております。

平成24年1月の調査がまとまりましたのでその概況をお知らせします。なお詳しくは月報をご参照ください。

◎調査店1店当たりの販売台数

本月の1店当たりの新車販売は10.6台で、前年同月に比べ0.9台減の92.2%である。車種別の前年同月比では上回った車種はなく、横ばいが幼児車、マウンテンバイク、電動アシスト車で、シティ車82.4%、ホーム車97.8%、折りたたみ車66.7%、子供車80.0%、スポーツ車92.9%と下回った。また前月比ではマウンテンバイクの横ばい以外下回っている。

中古車は前年同月比、前月比とも下回っている。

◎自店や他店の動向など調査店から寄せられたコメント

各店舗から寄せられるコメントは、悪い状況を示すものが多く、「店舗は開いているが、来店者がなく休店同様の状況」(北海道)、「新しい年が明けたが、静かというより押し黙ったまま息をひそめているといった年の始め(震災の影響、厳しい寒さ、売上げの低迷)。いろいろな意味で春が待ち遠しい」(宮城)、「毎日がストーブの番、自転車の収入はゼロに近くしんどい」(石川)、「毎日雪かきだけの1ヵ月だった。自転車に乗るなど考えられない場所になっている。春に早くなってほしい」(長野)など、雪に閉ざされ開店休業状態のなか春を待ちわびるコメントが目立つ。

また、悪い状況のなかでも「通学車のチラシを出したが、昨年にくらべ一般車と電動アシスト車などが出ている。2月にももう一度チラシを出しがんばりたい」(京都)、「新しい年になり店内を少し配置替えした。展示商品がそう頻繁に入れ替わるわけではないので、来店客が新鮮に感じる店づくりを心がけたい。お客様は店の変化を感じ取っているはず」(大分)など前向きなコメントもみられる。

調査店1店当たりの販売台数(総合)

[全国9地域 店舗：100]

(平成24年1月)

[単位：台 構成比：%]

車種別	本月		前月		前月比	前年同月		前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	2.8	24.1	3.0	19.6	93.3	3.4	27.0	82.4
ホーム車	4.4	37.9	5.9	38.6	74.6	4.5	35.7	97.8
折りたたみ車	0.2	1.7	0.3	2.0	66.7	0.3	2.4	66.7
子供車	0.4	3.4	0.8	5.2	50.0	0.5	4.0	80.0
幼児車	0.2	1.7	0.4	2.6	50.0	0.2	1.6	100.0
マウンテンバイク	0.4	3.4	0.4	2.6	100.0	0.4	3.2	100.0
スポーツ車	1.3	11.2	1.8	11.8	72.2	1.4	11.1	92.9
電動アシスト車	0.9	7.8	1.4	9.2	64.3	0.9	7.1	100.0
合計	10.6	91.4	14.0	91.5	75.7	11.5	91.3	92.2
中古車	1.0	8.6	1.3	8.5	76.9	1.1	8.7	90.9
総合計	11.6	100.0	15.3	100.0	75.8	12.6	100.0	92.1
モーターバイク	0.3	2.6	0.4	2.6	75.0	0.3	2.4	100.0

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。

次回2月の販売動向調査結果は4月初旬にHP掲載の予定。

財団法人 自転車産業振興協会